萬國人物圖
乾

# 肆拾貳國

崎港西川先生著

# 人物圖說

# 題四十二國人物圖之首

凡聞殊國之名者必當詳問其俗之所好如何苟其善耶記之以爲吾身之法苟其不善邪亦記之以爲吾身之戒豈宜漫問其國人物如何土産品類如何地之方位寒暖廣狹大小如何而止耶此圖原出於紅毛蠻所傳蓋其船自交易或被風漂至或耳所確聞者也起震旦迄長人計四十二國矣而今謂之四十二國圖者何也吾邦之人後爲震旦二國並出大明大清兩朝人物故更以四十

二國名之耳大清得天下未及百年吾國者猶
獲覩故明之人物昔大明之於震旦其在祖宗夙
興夜寐兢兢業業君臣相勉此一時之所好也逮
其子孫所好相反燕晏偸惰上下廢業變起不圖
社稷失守遂致大清不勞兵力坐有四百江山方
今朝政若何直言無隱如張鵬翮者寵遇益隆廉
吏孤立如施査者官階愈貴戰功卓絶如藍理積
有虐民之事則褫職爲庶人屢巡狩於江南亦避
暑於關外其取捨好惡之狀出於賈客之談者太

略類此夫所謂學問者非獨目覩經傳子史爲然
而已其所見聞苟有益於吾身者皆可以爲學問
也是以禹拜昌言大舜好察邇言孔子曰三人行
必有吾師焉展卷此圖閱其人物讀其圖說由圖
說而考其風俗由風俗而論其所好則四十二圖
善惡邪正無不歷歷可見善者記之以爲吾身之
法惡者記之以爲吾身之戒孰非吾師哉或曰子
討論諸國理固然矣若所謂善者記之爲法不善
者記之爲戒是言也未能無疑夫善之足以取法

惡之足以可戒者其孰明於典籍乎哉今子不考之典籍而惟圖是考豈圖之所載勝於典籍邪予曰非是之謂也唐虞三代之時既有典籍行世尚矣然當時之聖猶謂牖戶座席几杖盤盂皆可以爲警戒勸銘而備觀焉是圖所載殊國風俗其爲警戒者顧不逮於牖戶座席邪

正德甲午秋八月

劉善聰書

總目錄

亞費利加　加拂里　爲匿亞
比里太尼亞　莫斯哥米亞　工答里亞
太泥亞　翁加里亞　波羅尼亞
意太里亞　齊爾瑪尼亞　拂郎察
阿蘭陀　諳厄利亞　撒兒木
阿勒戀　加拿林　亞瓦的革
伯剌西爾　小人　長人

總計四十二國

# 四十二國人物圖説

崎陽　西川淵梅軒求林志

## 渾地五大洲

亞細亞洲　唐土天竺韃靼等屬此大洲

利未亞洲　自天竺西方至南方之界

歐羅巴洲　在於天竺之西北一界

亞墨利加南洲北洲　在於日本東南之大界或分南北而為兩洲

墨瓦臘尼加　自赤道至南極下之一大界

已上

大明

大明ハ唐土なり世々國號を改る故ニ定りし名
號なし國人みつから称し多中華也又中夏或
定めく二京十三道を立ゟハ大明乃太祖帝なり
日本より唐土と號よる事ハ大唐の世日本に親
睦繁かりし故なり又伽羅也號よるは古日本へ
異國より来る始ハ三韓乃内大伽羅國乃人
なりし故なり異國を指く伽羅と號を此故なり
漢唐韓乃字皆伽羅也訓とし又支那といふは
天竺方より称せし名にて梵語なりとそ震旦し

支那乃轉音なりといへり故に紅毛等の外國
に唐土をさして智以那と號せり即支那也
北極地を出る事四十二度より十九度に至る
南北相距る事二十三度なり

大清

大清ハ即今の唐土の號なり天子の本國韃靼なる故よ
大明乃世の風俗を改む此故乃二國乃圖を分て大
今の風俗ほ志るし尓二京十三道文字經史学法
前代乃隨ふ事變改をしる

韃靼（タツタン）

韃靼ハ本名韃而靼といふ今ハ而の字を略す其國東西黒白乃二種有て属類甚多く國界四十八道あり相分れて大國也古乃胡國といひ或ハ蒙古といふも皆此國の別號なり南界ハ唐土に接し北方ハ氷海に近く大寒地にて四季晝夜乃長短大に他方と同しからさる所多し最冨饒の國也しかして國人弓馬を好く勇強乃風俗なり　北極地を出る事四十三度より六十四度に至る南北に短く東西に長し

朝鮮

朝鮮ハ古の三韓とて馬韓辰韓弁韓の地也中古
新羅百済高麗と分ち末代合て朝鮮と號を國
八道あり寒國なり京畿道ハ北極地を出る事三十
度釜山浦ハ三十六度なり

兀良哈

兀良哈ハ朝鮮の北東にある寒国也良の字ハ艮と
するハ誤り此国恐朝鮮より遠しといふ或曰女直国
乃属也し　北極地を出る事凡四十二度

琉球

琉球ハ南海中乃島国なりむかしハ竜宮といふ中古ハ流
求といひ末代より琉球とハ塵地なり　北極地を出る
事二十五七八度

東京

東京(とんきん)ハ古より唐土に属せる国にて中華の文字を用ゆ詞(ことば)ハ別なり古唐土より交趾(かうち)といひしハ此国なり宋代に至て両国に分ち其東辺を東京(とんきん)といひ南辺を廣南(たいわん)といへり今ハ廣南のことを交趾と號す風俗相同しき故に別に交趾の圖なし いづれも煖国也　北極地を出る事凡十五六度

答タ加カ沙サ谷ヤ

答加沙谷ハ唐土東南海中の島國也むかし阿蘭陀人住居せし時臺灣と號し國姓爺居住已後東寧と改む蝦國なり地民乃風俗ハ悪賤く常に麋鹿を猟として産業とす農民ハ甘蔗西瓜を種る事て耕して米麥一歳ニ二たひ収む　北極地を出る事二十二三度

呂宋

呂宋は臺灣より南方海中にある嶋國也熱國にて濕毒深き地也ことに又末代邪法の屬國と成てかの國の者多く住る地民は風俗あれて賤しき也

剌答蘭

剌答蘭ハ日本の東南大海乃中にある島國にて熱國也昔蛮船諸國往来の節船を寄て見つるとぞ末代紅毛等到る事ありや詳なりし

爪哇（ジャワ）

咬哇ハ唐土西南方なり常に遠き國なり大熱國
にて四時寒暑乃次序唐土日本等の國と相反し
事甚別なり今日本に来る阿蘭陀人居住の咬
𠺕吧ハ此國乃北端なり故に別の人物と圖さず
北極ハ見えずを南極地を出る事六度或ハ七度

蘇門答剌

蘇門答剌ハ或ハさ海ぞらともいふ呱哇國の北よある島國也是も大熱國よて人物風俗賤く國主多く而そり地を領して争いども此國金銀を産すといへり民多く取て衣とし偶金塊を得るてあれハ旅人より交易とといふ　南北乃雨極早衣ふる又此國の東ふ浡泥國あり人物風俗相同く常熱の國也故よ剿ふ載せし呱哇蘇門答剌浡泥等ハ墨瓦臘泥加よ近し

暹羅（シヤムラウ）

暹羅ハ南天竺摩羯陀國乃内也唐土より西南なり
當れる熱國にて東埔寨と同類の國也最佛法を尊
敬ます東埔寨ハ暹羅より暑熱強く人物甚賤し
北極地を出る事暹羅ハ十四度東埔寨ハ十二度

羅烏

羅烏ハ暹羅ニ近き類国ニて摩竭陀国の旧也尤熱
国ニて人物暹羅ニ異ある故ニ別ニ其絵を図ス此国
多く斑文竹を生ス

莫臥爾（モウル）

莫臥爾ハ回々とかく莫臥爾とするハ誤なり是も南天竺乃内にて第一の大国也十四道有て寶貨富饒の国也といへり煖国なれとも氣候ハ和して唐土乃廣東に等しと也

北極地を出る事二十二度

百兒齊亞（ハルレヤ）

百兒斎亞ハ亞細亞乃内天竺の西にある大國なり
獣類土産多く四季有て豊なる國也といふ百兒乃字
又ハ百爾とす